

## 日・ASEAN UHC イニシアチブ【仮訳】

ASEAN 加盟国及び日本は連携及び協力をより一層深め、日・ASEAN ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC) イニシアチブの下、持続可能な開発目標(SDGs)の一つとして定められた“2030年までの持続可能なUHCの達成”のための取り組みを推進する。これらの連携及び協力の目標は以下の二つである。1) 持続可能なUHCの基盤となる質の高い健康医療データ及び研究システムの構築 2) UHC実現に向けた保健システム改善のための人材開発と知見の共有

### 1. 持続可能なUHCの基盤となる質の高い健康医療データ及び研究システムの構築

#### 1-1 住民登録・人口動態統計の推進並びに基本的な保健データシステムの普及を支援

ASEAN 加盟国及び日本は、ASEAN 加盟国において、健康関連のSDGsの指標を含む保健データを作成するための基礎となる住民登録・人口動態統計(CRVS)の普及を推進する。このために日本、WHO、世界銀行、アジア開発銀行、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)は適切な取り決めのもと ASEAN 加盟国と連携、協力する。

#### 1-2 日・ASEAN 共同研究の推進

政策研究は持続可能なUHCの実現及びその発展に重要な役割を果たしている。ASEAN 加盟国及び日本は、両者の研究者による高齢化とUHCに関連した栄養、運動等の共通の研究テーマに沿った共同研究を推進し、政策研究者のネットワークの構築、WHO 健康開発総合研究センター(WHO 神戸センター)の研究スキームの活用を行う。

### 2. UHC 実現に向けた保健システム強化のための人材開発と知見の共有

#### 2-1 保健医療政策人材の育成推進

保健システム強化のため、ASEAN 加盟国及び日本は、WHO、P4H 及びその他の関連パートナーの研修プログラムを活用し、保健医療政策専門家の育成を推進する。さらに、ASEAN 加盟国及び日本は、「グローバルヘルスとユニバーサル・ヘルス・カバレッジのためのパートナーシッププロジェクト」並びに「子どもとお母さんのためのUHC」といった三角協力を促進する。

事業候補となり得る関連プログラム：

- －日本における研修（WHO フェローシップ、P4H、厚生労働省）
- －専門家派遣（厚生労働省）
- －相互学習の促進（グローバルヘルスとユニバーサル・ヘルス・カバレッジのためのパートナーシッププロジェクト）

## 2-2 UHC 政策アドバイザーの派遣

ASEAN 加盟国と日本との合意のもと、日本は、持続可能な UHC の実現に向けた各国の取り組みを支援し、知識及び教訓、特に、人口転換や経済事情の変化に合わせた保健システムの整備等を共有するため、各国の事情に応じて JICA を通じた政策専門家の派遣を検討する。